

とんとんだより

富田東地区
コミュニティ情報
第10号
平成24年1月15日

発行：富田東地区まちづくり協議会 事務所 新南陽公民館内 TEL：63-1188



冬の大掃除

2011. 12. 4 とんとん会館

頑張ろう!! 2012年

行事のご案内 (平成24年1月~平成24年4月)

- | | | |
|-------------------|---------|---------------------------------|
| 2・17 地域大学校開催 | 新南陽公民館 | 富田東地区福祉委員会 |
| 2・19 富田八十八か所お大師巡拝 | 菊川、水上地区 | 富田東レク・スポ委員会
(富田西レク・スポ委員会と共催) |
| 4・8 進入学児童の交通事故防止 | 東小学校門前 | 周南交通安全協会富田東支部 |
| 2・16 料理教室 (富田東支部) | 新南陽公民館 | 輝きクラブ新南陽 |
| 4/上~5/中旬 鯉のぼり掲揚 | 音羽橋付近 | 富田川を美しくする会 |

新年が良い年になりますように!!

〈団体紹介〉社会福祉法人 すみれ会

すみれ保育園



当保育園は、四年半の準備期間を経て平成十九年四月一日に開業しました。周南市では一番新しい保育園です。
当時、乳児も含め周南市でも

待機児童が徐々に増えていくことが予想され、市の要望を受けて設立したものです。
また、現在の場所に保育園を設置したのはJR西日本より南に保育園が無いということ

ことで産業道路周辺で何か所か探していたところ、現在お世話になっている地主さんから「うちの土地で良かったら使いませんか」ということで今在る場所になりました。

現在、保育園には0歳から6歳までの八十五家族、百九名の園児がいます。一年間を通して行事等も多いのですが、その中でも大きい行事と言えば夕涼み会、運動会、クリスマス発表会、それと卒

園式があります。

当保育園は、一時保育、休日保育も行っています。休日保育は、周南市の東に位置する共楽保育園さんと、西に位置する当保育園のみが行っています。

また、当保育園には、「子育て支援センター、マーガレット」も併設しており、子育てで悩んでいるお母さん方や、近所の子供同士の交流が困難な親子の皆さんに集える場所を提供しています。開所は、基本として月曜日から金曜日の朝十時から十五時までとなっています。
尚、毎週水曜日は相談日として子育てに関わる悩み相談をベテラン職員が対応しております。



クリスマス発表会

限られたスペースでの説明となりましたが、この地域の福祉に少しでもお役に立てればと頑張っておりますのでよろしくお願ひ致します。

(理事長 山口 満)

二度目の正月を迎えました！

富田東地区まちづくり協議会もお陰さまで、平成二十一年三月の設立総会から二度目の正月を迎えることになりました。準備委員会の段階から含めれば三年二カ月を経過したことになります。

「石の上にも三年」と言いますが、振り返ってみますとこれまでの三年間は模索と試行錯誤の連続であり、ここまで漕ぎ付けることができたのも、これまでご協力いただいた関係各位のご理解とご協力があったればこそと感謝致しております。心からお礼を申し上げます。

これからが正念場

ご承知のように、この新南陽地区では各コミュニティ団体がそれぞれに活発な活動を展開し

てきました。富田東地区も例外ではありません。

ところが、周南市が発足したことによりこうした活動も、かつての新南陽方式から周南方式へと変わらざるを得なくなりました。そしてこの周南方式の受け皿として生まれたのが私たちの組織、富田東地区まちづくり協議会であろうと考えています。

途中から結成された組織であることから馴染みが薄く、ぎこちなさがあることも否めません。しかしここを乗り越えられない限り明日が開けてこないことも間違いありません。この意味からは「これからが正念場」と言っていると考えています。

今回はこの三年間の取り組みを振り返るとともに、これからの事業の在り方についてその方向性を探ってみたいと考えています。

広報紙「とんとんだより」

第一は、広報紙「とんとんだより」の発行です。

今回の発行で十号を数えることになりましたが、当初のA4裏表2頁立てから4頁立てへ、発行回数も年4回を目標に頑張ってきました。

予算が限られていたことから自前のパソコンで記事を作成、その原稿を新南陽公民館の印刷機で印刷し、手折りで仕上げるという作業を役員総出でこなしてきました。

「とんとんだより」発行作業



富田西との共催事業

第二は、富田西地区コミュニティ推進協議会との連携による共催事業の実施です。大きくなった周南市の中で富

田東地区の埋没を防ぐためには、富田西地区との連携が欠かせないという観点から、お互いに共催事業を模索してきました。

昨年度は「富田地区コミュニティ納涼まつり」、今年度は「国体会場周辺の清掃作業」を実施してきました。また昨年度取りまとめた「学び交流プラザ整備事業に関する要望」については、今年度も引き続き委員会を開催して提言を続けています。今後にも何に取り組むべきかの模索は続くと思いますが、一歩一歩前進を続けてまいりたいと考えております。

尚、共催事業として三年間継続してきた「ご来光の集い」については、これからも続けていきたいと考えています。

富田東地区内での活動

第三は、富田東地区内における活動です。

富田東レク・スポ推進委員会主催のあそびんピックの協賛事

業として「〇×クイズ」を三年間実施してきました。また、昨年度は「まんどころ来てみん祭に対する助成」も行ってきました。いずれも当協議会が積極的に関わるべき事業であるとの認識から取り組みを進めてきました。

また、平成二十一年十月から制作に取り組んできた富田東地区の歌「とんとん拍子」は、坂井克嘉先生のご協力をいただき平成二十二年九月、作曲まで漕ぎ付けることができました。現在は地区住民の皆さんにお届けするために、CD化に取り組んでいるところです。

この他、平成二十二年九月には、当時の市長から要請を受けて「市長と語る会」も開催しております。

模索と試行錯誤は今後も続くと思いますが、役員一同頑張つて参りますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

トントントン通信 「コンビナート事故の教訓」

十一月十三日午後、爆音とともに地面を突き上げる衝撃。地震か。違う。工場だ。そしてまたもや爆音。黒煙…。

その後の報道で、東ソーの第二塩ビモノマー製造施設が爆発し塩化水素ガスが漏洩、屋外に出ないようにと知らされたのは事故の発生から二時間以上も経過した後のことだった。

事故時は北西の風が吹いていた。もしこれが南西の風であったならば…。また、漏洩ガスが毒性の強いものであったならば…。市街地は瞬時に被災地に変わっていたのではないか。そして被災者は無防備な地区住民だったのではないか。

人間のやることに絶対はない。事実〇七年には日ポリでタンクが破裂、この他にも漏洩事故は何度か発生している。

折しも、自治会連合会を主体に自主防災組織を立ち上げることが検討されている。今回の事故は天変地異だけでなく、コンビナートからの有害物の漏洩についても、あらかじめの備えが必要であることを教えてくれたのではないか。

